

令和 2 年度自転車関連実施事業

通勤

施策 1 通勤時の自転車利用への転換促進

過度な自家用車利用への依存や朝夕の渋滞等の解消のため、通勤手段を自家用車から自転車へ転換することを促す取組みを進める

豊橋市自転車活用推進計画における位置付け					令和 2 年度に実施した事業				
目的	事業の区分	実施事業	関係団体	実施時期		事業名称	概要	効果	事業実施関係団体
				前期	後期				
通勤	通行空間	通勤目的の自転車ネットワーク路線の整備	行政警察	○	○	自転車通行空間の整備	道路空間の再配分などにより、自転車と歩行者、自動車が共存できる自転車通行空間を整備し、そのネットワーク化を進めることで、安全かつ快適に移動できる環境を整え、市民の自転車利用を促進した。 【市道】令和 2 年度においては、大国町・往完町 1 号線ほか 12 路線において、ピクトグラムや矢羽型の路面表示などの自転車通行空間確保工事 (L=5.8km) を実施した。(R1 年度補正及び R2 年度) 【県道】(主) 豊橋湖西線において、自転車通行帯を L=645m 整備した。	自転車と歩行者、自動車が共存できる自転車通行空間を整備し、そのネットワーク化を進めることで、安全かつ快適に移動できる環境を整え、市民の自転車利用の促進を図った。	愛知県(東三河建設事務所道路整備課) 豊橋市(道路建設課)
	駐輪	交通結節点における駐輪場整備	行政交通事業者	○	○	放置対策推進事業	①駅周辺の自転車放置規制区域を中心に放置自転車を防止するための指導・啓発活動を行った。 ②豊橋市内 5ヶ所の無料駐輪場の整理を行うとともに、危険箇所を発見した場合は速やかに報告を行った。	①休日を含め、放置自転車に対する指導・啓発活動を継続して行うことで、駅周辺の放置自転車は年々減少している。②無料駐輪場の自転車等が乱雑にならないように整理でき、駐輪環境の向上を図った。	豊橋市(土木管理課) 指定管理者(蔦井株式会社) 委託業者(公益社団法人豊橋市シルバー人材センター)
							自社(豊橋鉄道(株))管理駐車場への放置自転車の撤去を実施した。	撤去したスペースは新規利用者が使用することで自転車利用の促進を図った。また撤去自転車に関してはリサイクルと地域安全の向上に寄与した。	豊橋鉄道(株)
						自転車等駐車場管理運営事業	指定管理者制度による豊橋市自転車等駐車場(豊橋駅東口、豊橋駅西口、二川駅南口)の管理・運営を行った。	計画的かつ効果的に施設修繕や設備更新を行い、老朽化した施設の延命化により駐輪場の利用環境の維持向上を図った。	豊橋市(土木管理課) 指定管理者(蔦井株式会社) 委託業者(蔦井株式会社)
						サイクルアンドライド駐輪場整備	競輪場前駐輪場 150 台の再整備を行った。 赤岩口駐輪場の拡張(200 台→210 台)を行った。 【資料 1-1】【資料 1-2】	サイクルアンドライド効果による利便性の向上を図った。	豊橋鉄道(株) 豊橋市(都市交通課)
安全教育	企業を通じた交通安全教室の実施	行政企業	○	○	とよはしエコ通勤実施運動	県境地域通勤改善推進協議会の参画事業所を対象に自転車交通のルール、自転車保険などを伝える講習会を実施する予定であったが、新型コロナウイルスの影響を考慮し中止した。	豊橋市(都市交通課)		

通勤	意識啓発	企業向け自転車通勤促進セミナーの開催	行政企業	○	○	とよはしエコ通勤実施運動	通勤時間帯における渋滞が激しい県境地域における事業所（自家用車で通勤する人）を対象に、豊橋市役所で実施している「とよはしエコ通勤運動」のような、通勤手段を自家用車から公共交通機関等へ自発的な転換を促した。	モビリティ・マネジメント（MM）に関するニュースレターを配布し、従業員へ自転車通勤等を促すための意識啓発を図った。	豊橋市（都市交通課）
		健康増進のための自転車活用推進	行政企業	○	○	とよはし健康マガジンの発行	とよはし健康宣言事業所向けに働き世代に役立つ健康情報を「とよはし健康マガジン」として年3回発行し、自転車通勤のメリット等の記事を掲載した。	健康マガジンを通じて、自転車活用のメリット等について啓発することができた。	豊橋市（健康政策課） 豊橋商工会議所 全国健康保険協会愛知支部
						とよはし健康宣言事業所認定制度	健康経営に取り組む企業を認定する「とよはし健康宣言事業所」の認定要件である「応援事業」の一つに、「エコ通勤」を入れ、公共交通や徒歩・自転車での通勤（エコ通勤）を推進し、従業員の運動機会促進を図った。	応援事業に自転車活用（エコ通勤）を組み込むことにより、市内企業へ自転車通勤のメリットを周知することができた。	豊橋市（健康政策課） 豊橋商工会議所 全国健康保険協会愛知支部
		サイクル&ライドの推進	行政企業 交通事業者	○	○	公共交通マップの作成	公共交通の利用促進に向けた取組の一環として、豊橋市内の公共交通に関する情報を記載したマップを作成し、その中にサイクルアンドライドが可能な駐輪場を表記した。	市民にサイクルアンドライドが可能な駐輪場の位置を周知することができた。	豊橋市（都市交通課）
	支援・補助	企業における自転車通勤環境の改善	行政企業	○	電動アシスト自転車購入補助	市民意識の向上及び温室効果ガスの排出抑制を図り、地球温暖化対策の推進に寄与することを目的として、電動アシスト自転車の購入に対して補助金を交付し、自動車利用から自転車利用への切り替えを促進した。	電動アシスト自転車について600台の購入補助を実施し、近距離移動などに活用してもらうことで市民意識の向上を図った。	豊橋市（再生可能エネルギーのまち推進課） 市内の自転車販売店	
					環境マネジメントシステム推進事業（豊橋市職員対象）	豊橋市エコアクションプラン（第5次）の推進にあたり、とよはしエコマネジメントシステム（T-EMS）を活用しており、エコ通勤の実施日数を令和元年度比で増加するという目標を掲げている。豊橋市役所職員の研修等を通して、エコ通勤（自転車や公共交通機関などによる通勤）を推進した。 令和3年度以降の第6次エコアクションプラン策定	自転車通勤を含むエコ通勤の実施日数を目標とすることで、自転車利用の促進を図った。（令和元年度比3.6%減少見込）	豊橋市（再生可能エネルギーのまち推進課） 豊橋市役所の職員。嘱託員、再任用職員	
					自転車損害賠償保険を包括する保険の団体扱いの開始	団体扱いのため割引された保険料での加入が可能となった。なお、加入者の保険料については、団体扱いの生命保険と同様に給与から控除できるようにした。	自転車通勤を検討する判断材料になるほか損害賠償保険加入義務付け後においても引き続き自転車通勤の継続を図った。	豊橋市（人事課）	
					とよはしエコ通勤運動（豊橋市職員対象）	通勤距離区分が2km以上15km未満で自転車通勤の場合に、通勤手当の加算を行った。	「通勤手当の加算」の継続により、一定の自転車通勤者数が維持することができた。	豊橋市（人事課）	

通 学

施策2 通学時の自転車利用者の安全確保

通学時の自転車利用時の事故減少のため、自転車利用のルール、マナーに関する教育を引き続き実施

豊橋市自転車活用推進計画における位置付け					令和2年度に実施した事業				
目的	事業の区分	実施事業	関係団体	実施時期		事業名称	概要	効果	事業実施関係団体
				前期	後期				
通学	通行空間	通学ルートにおける危険箇所の解消	行政警察	○	○	交通安全対策事業	交差点等の危険箇所について対策工事を行った。(天伯町ほか)	天伯町地内の天伯小学校通学路や中岩田四丁目地内ほかの岩田小学校通学路などにおいて交差点や路側帯の安全対策を行うことにより、通学路における安全性の向上を図った。	豊橋市(道路維持課)、豊橋警察署、天伯小学校、天伯校区自治会、岩田小学校、岩田校区自治会ほか
	駐輪	交通結節点における駐輪場整備(再掲)	行政交通事業者	○	○	自転車駐輪場管理運営事業(再掲)	指定管理者制度による豊橋市自転車等駐車場(豊橋駅東口、豊橋駅西口、二川駅南口)の管理・運営を行った。	計画的かつ効果的に施設修繕や設備更新を行い、駐輪環境の維持向上を図った。	豊橋市(土木管理課) 指定管理者(蔦井株式会社) 委託業者(蔦井株式会社)
						放置対策推進事業(再掲)	①駅周辺の自転車放置規制区域を中心に放置自転車を防止するための指導・啓発活動を行った。 ②豊橋市内5ヶ所の無料駐輪場の整理を行うとともに、危険箇所を発見した場合は速やかに報告を行った。	①休日を含め、放置自転車に対する指導・啓発活動を継続して行うことで、駅周辺の放置自転車は年々減少している。 ②無料駐輪場の自転車等が乱雑にならないように整理でき、駐輪環境の向上を図った。	豊橋市(土木管理課) 指定管理者(蔦井株式会社) 委託業者(公益社団法人豊橋市シルバー人材センター)
							自社(豊橋鉄道(株))管理駐車場への放置自転車の撤去を実施した。	撤去したスペースは新規利用者が使用することで自転車利用の促進を図った。	豊橋鉄道(株)
	安全教育	自転車免許制度等の新たな安全教育手法の導入	行政警察学校	○	○	交通安全教室の実施	・幼児から高齢者まで各世代に応じた交通安全教室を実施した 幼児 74回 5186人、小学校 50回 3542人、中学校 1回 114人、高等学校等 2回 1021人、高齢者 2回 50人、一般 51回 2171人 ・スタントマンによる交通事故再現教室(スケアード・ストレート)を実施した。(豊橋市立五並中学校、愛知県立豊橋西高等学校) 2回 312人 合計 182回 12,396人	各世代に応じた指導を行うことで、受講者は交通ルールを学ぶとともに交通安全意識の高揚が図られ、結果として人身事故件数が減少し、自転車に関する事故も一定数の減少が見込まれる。	豊橋市(安全生活課)、スタントマンによる交通事故再現教室 (有)シャドウ・スタントプロダクション、市内中学校1校、市内高等学校1校
						100日間自転車無事故無違反ラリー	自転車の交通安全意識の向上と、交通事故防止を目的として、豊橋市内の中学校・高校による100日自転車無事故・無違反ラリーを実施し、達成した学校は表彰する等を行った。参加高校全11校、中学校全23校。(達成校 高校1校、中学校17校)	自転車利用の生徒への自転車通学者の法令順守と交通マナーの向上が図られた。	豊橋警察署
	意識啓発	自転車利用のメリットの教育	行政学校	○	○				
サイクル&ライドの推進(再掲)		行政企業交通事業者	○	○	公共交通マップの作成(再掲)	公共交通の利用促進に向けた取組の一環として、豊橋市内の公共交通に関する情報を記載したマップを作成し、その中にサイクルアンドライドが可能な駐輪場を表記した。	市民にサイクルアンドライドが可能な駐輪場の位置を周知することができた。	豊橋市(都市交通課)	

買物

施策3 買物時の自転車利用環境の向上
誰もが安心して買物ができるようにするため、通行や駐輪のための環境を整備

豊橋市自転車活用推進計画における位置付け					令和元2年度に実施した事業				
目的	事業の区分	実施事業	関係団体	実施時期		事業名称	概要	効果	事業実施関係団体
				前期	後期				
買物	通行空間	買物目的の自転車通行空間の整備	行政警察		○	自転車通行空間の整備（再掲）	道路空間の再配分などにより、自転車と歩行者、自動車が共存できる自転車通行空間を整備し、そのネットワーク化を進めることで、安全かつ快適に移動できる環境を整え、市民の自転車利用を促進した。 【市道】令和2年度においては、大国町・往完町1号線ほか12路線において、ピクトグラムや矢羽型の路面表示などの自転車通行空間確保工事（L=5.8km）を実施した。（R1年度補正及びR2年度） 【県道】（主）豊橋湖西線において、自転車通行帯をL=645m整備した。	自転車と歩行者。自動車が共存できる自転車通行空間を整備し、そのネットワーク化を進めることで、安全かつ快適に移動できる環境を整え、市民の自転車利用を促進した。	愛知県（東三河建設事務所道路整備課） 豊橋市（道路建設課）
	駐輪	まちなかにおける駐輪環境の向上	行政企業民間団体	○	○	自転車放置対策推進事業（再掲）	①駅周辺の自転車放置規制区域を中心に放置自転車を防止するための指導・啓発活動を行った。②豊橋市内5ヶ所の無料駐輪場の整理を行うとともに、危険箇所を発見した場合は速やかに報告を行った。	①休日を含め、放置自転車に対する指導・啓発活動を継続して行うことで、駅周辺の放置自転車は年々減少している。②無料駐輪場の自転車等が乱雑にならないように整理でき、駐輪環境の向上を図った。	豊橋市（土木管理課） 指定管理者（蔦井株式会社） 委託業者（公益社団法人豊橋市シルバー人材センター）
						自転車等駐車場管理運営事業（再掲）	指定管理者制度による豊橋市自転車等駐車場（豊橋駅東口、豊橋駅西口、二川駅南口）の管理・運営を行った。	計画的かつ効果的に施設修繕や設備更新を行い、駐輪環境の維持向上を図った。	豊橋市（土木管理課） 指定管理者（蔦井株式会社） 委託業者（蔦井株式会社）
	安全教育	自転車の貸付及び補助と併せた安全教育実施	行政	○	○	自転車安全利用の教育	三人乗り自転車を貸出しする際に、自転車安全利用の講習をうけてもらい、交通安全を呼び掛けた。	自転車安全利用の啓発を図ることができた。	豊橋市（保育課） 豊橋市（安全生活課）
	支援・補助	自転車普及のための貸付及び購入補助	行政	○	○	電動アシスト自転車購入補助（再掲）	市民意識の向上及び温室効果ガスの排出抑制を図り、地球温暖化対策の推進に寄与することを目的として、電動アシスト自転車の購入に対して補助金を交付し、自動車利用から自転車利用への切り替えを促進した。	電動アシスト自転車について600台の購入補助を実施し、近距離移動などに活用してもらうことで市民意識の向上を図った。	豊橋市（再生可能エネルギーのまち推進課） 市内の自転車販売店
						高齢者運転免許自主返納 電動アシスト自転車購入補助	高齢運転者による自動車の交通事故防止と日常生活の移動手段の確保のために、運転免許を自主返納した方を対象として電動アシスト自転車の購入補助を行った。	71台の購入補助を実施し、運転免許返納した高齢者への移動手段の確保が図られた。（令和元年11月1日より受付開始）	豊橋市（安全生活課） 市内の自転車販売店
						三人乗り自転車貸出	子育て支援施策として、就学前の満1歳以上4歳未満及び満2歳以上の幼児を2人以上養育し、豊橋市内に居住している家庭を対象に、三人乗り自転車（電動アシスト）の貸し出しを行った。	子育て家庭の日常生活における親子での移動手段として自転車の活用を促すことができた。 延べ84台を貸し出した。	豊橋市（保育課）
						豊橋市ヘルメット購入補助金	市内在住者及び市内在学者に対し、ヘルメット購入費の一部を補助することで自転車ヘルメット着用を促した。 補助金利用件数 1557件（内訳は以下のとおり） ・未就学児 378 ・小学生 755 ・中学生 166 ・高校生 12 ・その他 246	前年以上の購入実績があり、ヘルメットの着用を促進した。	豊橋市（安全生活課） 事業協力店

共通

その他の実施施策

複数の目的に共通する取り組みや、自転車のイメージアップ及び日常の自転車利用に繋げるための取り組み等

豊橋市自転車活用推進計画における位置付け						令和2年度に実施した事業			
目的	事業の区分	実施事業	関係団体	実施時期		事業名称	概要	効果	事業実施関係団体
				前期	後期				
共通	通行空間	自転車ネットワークの構築	行政警察	○	○	自転車通行空間の整備（再掲）	道路空間の再配分などにより、自転車と歩行者、自動車が共存できる自転車通行空間を整備し、そのネットワーク化を進めることで、安全かつ快適に移動できる環境を整え、市民の自転車利用を促進した。 【市道】令和2年度においては、大国町・往完町1号線ほか12路線において、ピクトグラムや矢羽型の路面表示などの自転車通行空間確保工事（L=5.8km）を実施した。（R1年度補正及びR2年度） 【県道】（主）豊橋湖西線において、自転車通行帯をL=6.45m整備した。	自転車と歩行者。自動車が共存できる自転車通行空間を整備し、そのネットワーク化を進めることで、安全かつ快適に移動できる環境を整え、市民の自転車利用を促進した。	愛知県（東三河建設事務所道路整備課） 豊橋市（道路建設課）
	利用環境	自転車利用環境向上のためのスポットづくり	行政企業民間団体	○	サイクリストに対するサポート体制の整備（道の駅とよはし体験型観光委託業務の一部）	E-BIKEのレンタサイクルの運営（専属スタッフの配置）、サイクリング関係イベントの企画・運営を行った。	E-BIKEのレンタサイクルを始め、道の駅とよはしを拠点としたサイクリングイベントの開催により、道の駅とよはしのサイクリスト受入環境を周知するとともに道の駅とよはし周辺の観光資源の魅力を発信することができた。	豊橋市（観光振興課）、道の駅とよはし、市内自転車関係事業者	
					サイクルピット整備事業	自転車利用者の誘客による地域振興や観光振興を図るため、自転車利用者がサイクリング中に気軽に立ち寄り、休憩や自転車の簡易なメンテナンスを行うことができる「サイクルピット」を市内各所に設置し、自転車を快適に利用できる環境を整備した。【資料1-3】	ほいっぷ、視聴覚センターやコンビニといった市内5か所に設置し、休憩スポットとして自転車利用を促進した。	豊橋市（都市交通課） セブンイレブン	
					サイクリスト受入れ環境整備	輪行で豊橋へ訪れるサイクリストのために、自転車の組立や簡易なメンテナンスを行うことができる「自転車組立スペース」を整備した。【資料1-4】	豊橋駅南口駅前広場に設置し、自転車の組立やメンテナンスを行う場所を整備することで、自転車利用を促進した。	豊橋市（都市交通課）	
安全教育	対象・課題に応じた安全教育の実施	行政警察学校企業民間団体	○	○	交通安全教室の実施（再掲）	・幼児から高齢者まで各世代に応じた交通安全教室の実施した。 幼児 74回 5186人、小学校 50回 3542人、中学校 1回 114人、高等学校等 2回 1021人、高齢者 2回 50人、一般 51回 2171人 ・スタントマンによる交通事故再現教室（スケアード・ストレート）を実施した（豊橋市立五並中学校、愛知県立豊橋西高等学校） 2回 312人 合計 182回 12,396人	各世代に応じた指導を行うことで、受講者は交通ルールを学ぶとともに交通安全意識の高揚が図られ、結果として人身事故件数が減少し、自転車に関する事故も一定数の減少が見込まれる。	豊橋市（安全生活課）、スタントマンによる交通事故再現教室 （有）シャドウ・スタントプロダクション、市内中学校1校、市内高等学校1校	

安全教育	対象・課題に応じた安全教育の実施	行政 警察 学校	○	○	交通児童館事業	自転車乗り方教室などの行事を開催するとともに、遊びを取り入れながら交通ルールを学ぶ教室を開催し、児童の健全育成を図った。	自転車の交通ルールを学ぶ機会を提供した。	豊橋市（こども未来館） 指定管理者
		企業 民間団体			自転車安全・快適利用啓発事業 (シール)	バス車両後方左側に「自転車は左側通行」ステッカーを貼ることによって、自転車利用者に交通ルールとマナーを訴えた。	自転車の安全・快適性の向上だけでなく、路線バス運行上の安全確保にもつながった。	豊鉄バス
意識啓発	自転車保険のPR	行政 警察 学校	○	○	自転車保険の加入促進	市ホームページや広報とよはし等による情報発信や、市内小中高大学生へのチラシの配布により、平成31年4月1日に施行した豊橋市自転車の快適で安全な利用の推進に関する条例に基づき、自転車損害賠償保険等への加入の周知を図った。	自転車保険の周知と加入促進を図った。	豊橋市（安全生活課）
	自転車マップ等の作成	行政 学校 企業 民間団体		○	サイクリングコースマップの作成	周辺都市との連携した市内全域のサイクリングマップ「はしってみ輪とよはし」の英語版を作成した。	英語版サイクリングマップを作成し、自転車利用の促進を図った。	豊橋市（都市交通課）
	利用目的に応じたメリットの周知	行政 学校 企業 民間団体	○	○	カーフリーデー・モビリティウィーク	都市交通を切り口とした都市環境の改善や賑わいのあるまちづくりも目的としたイベントの中で、サイクリングスタンプラリーも行った。自動車では通りにくい場所をサイクリングコースとし、自動車にはない景色の体感や運動不足を解消するとともにスタンプを集めることで景品がもらえる企画とした。 参加人数は46人（家族での参加多数）	イベントを通じて自転車の利用促進をPRし、自転車を交通手段として考えてもらうきっかけとなった。	豊橋市（都市交通課）
	自転車条例の周知	行政			豊橋市自転車の快適で安全な利用の推進に関する条例の推進	市ホームページや広報とよはし等による情報発信や、市内小中高大学生へのチラシの配布により、平成31年4月1日に施行した豊橋市自転車の快適で安全な利用の推進に関する条例（特に、自転車損害賠償保険等への加入及びヘルメットの着用）の周知を図る。このほか、高校生ヘルメット着用モニターを募り、どうしたら高校生がヘルメットを被るようになるかを話し合う場を設けることでヘルメット着用の向上を図る高校生プロジェクトを実施した。	各種取組により、条例の周知が図られた。 ヘルメット着用の必要性について、購入補助金と併せて市ホームページや広報とよはし等を活用して広く周知することにより、前年以上のヘルメット購入実績となり、ヘルメット着用の促進にもつながった。	豊橋市（安全生活課）、時習館高等学校、豊丘高等学校、豊橋南高等学校、豊橋工業高等学校、豊橋商業高等学校、豊橋市立高等学校、桜丘高等学校、藤ノ花女子高等学校、損害保険会社、保険代理店
レジャー	サイクリング・ポタリングコース等の設定	行政 民間団体		○	サイクルトレイン（渥美線社内自転車お持ち込みサービス）	特定日を除いた土休日及び平日（10:00～14:59発）に限り、1台あたり100円の料金を渥美線車内の指定エリアに自転車をそのまま持ち込み可能であるサイクルトレインを運行した。	新規需要の開拓等利用者の拡大を図ると共に、自転車利用者の利便性向上を図った。	豊橋鉄道(株)
					サイクルトレインPR	サイクルトレインのホーム案内表示の更新および新設車両へのサイクルトレインの表示を行った。【資料1-5】	太平洋沿岸自転車道利用者をはじめとするサイクリスト・日常沿線利用者への案内強化・利用促進を図った	豊橋鉄道、豊橋市

共通	レジャー	自転車イベントの開催	行政 民間団体	○	○	カーフリーデー・モビリティウィーク（再掲）	都市交通を切り口とした都市環境の改善や賑わいのあるまちづくりも目的としたイベントの中で、サイクリングスタンプラリーも行った。自動車では通りにくい場所をサイクリングコースとし、自動車にはない景色の体感や運動不足を解消するとともにスタンプを集めることで景品がもらえる企画とした。 参加人数は46人（家族での参加多数）	イベントを通じて自転車の利用促進をPRし、自転車を交通手段として考えてもらうきっかけとなった。	豊橋市（都市交通課）
						自然溢れるサイクリングロードでサイクリング体験	小学4年生から中学生を対象としたサイクリング体験を行った。 施設に隣接する豊橋田原自転車道を活用し、自然環境の中で、健やかな成長を育む機会及びチームワーク、目標を達成することにより達成感を味わることができるチャレンジ体験を提供した。参加者20人	今後サイクリングを楽しむきっかけ及びヘルメット着用等自転車の乗り方の指導をする機会となった。	豊橋市（生涯学習課） カントリーモーニング
						第8回ええじゃないか豊橋サイクルフェスティバル実行委員会	道の駅とよはしを拠点としたガイドツアーを秋に開催した。 （豊橋周遊新規コースの設定）参加者20名	豊橋市内の良いところを立ち寄り先に選定し、観光PRと共に、自転車利用の促進を図った。	豊橋市、豊橋商工会議所、豊橋体育協会、豊橋総合動植物公園、豊橋みどりの協会 日本トータ、ヤマサちくわ、中部ガス不動産、ユタカ産業、豊橋鉄道、KNT 中部
						令和2年度豊橋自転車競技大会	昭和31年から毎年開催しており、アマチュアの自転車愛好者にピスト競技の楽しさ、面白さなどを体験していただくとともに自転車競技の啓蒙普及を図った。競技種目により豊橋市長賞、市議会議長賞、体育協会理事長賞を贈った。参加人数102人	アマチュア自転車競技の普及振興・技量の向上に資する。	自転車協会、豊橋市、（公財）豊橋市体育協会、愛知県自転車競技連盟
						市民スポーツ祭2020【自転車】	市民を対象に競輪場のトラックでのタイムトライアルを行った。小学生の部から60歳以上のシルバーの部まで7つの部門で競い合い、普段走ることのない競輪場のトラックでの競技を経験して自転車競技の楽しさに触れてもらった。 参加人数80人	アマチュア自転車競技の普及振興・技量の向上に資する。。	自転車協会、豊橋市、（公財）豊橋市体育協会、愛知県自転車競技連盟

共通	レジャー	自転車イベントの開催	行政 民間団体	○	○	令和2年度豊橋自転車競技大会 春季記録会	コロナ禍で当協会は今年度の大会について、県内からの参加を募る大会のみとする方針としたため、大半の大会を中止と する中で、新規に豊橋市内在住・在学・在勤と参加対象者を 限定した記録会を企画し開催した。種目は、1kmタイムトライ アル（男子）、500mタイムトライアル（女子）、200mハロンに 加えケイリンを行った。延べ60名の申込みがあったが、当日は あいにくの雨天となり31人の参加となった。	アマチュア自転車競技の普及振興・技 量の向上に資する。	自転車協会 (公財)豊橋市体育協会
						道の駅サイクリングスタンプ ラリー	湖西市、田原市の道の駅と連携し、スタンプラリーを実施し た。道の駅のスタンプラリーとお店でのレシートをスタンプ の台紙に張り付けることで商品をもたらえる企画を行った。参 加者112名	楽しみながら市内外の観光スポット を巡ってもらい、自転車の利用促進に つながった。	豊橋市（観光振興課） (株)道の駅「とよはし」
						Toyohashi Ride with GPS	道の駅「とよはし」を起点とし、ログアプリを利用して各々自 由にサイクリングをしてもらい、ログを提出することで抽選 で記念品がもらえる企画を行った。参加者141名	楽しみながら市内外の観光スポット を巡ってもらい、自転車の利用促進に つながった。	豊橋市（観光振興課） (株)道の駅「とよはし」
						サイクルハント!!	指定された観光地などのチェックポイントを自転車で巡り、 写真を撮って得点を集める周遊型のサイクルイベントを行っ た。参加者2名（雨天により欠席者多数）	豊橋市内の良いところをチェックポ イントとし、観光PRとともに自転車 の利用促進につながった。	豊橋市（観光振興課） (株)道の駅「とよはし」